

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Risk factors for early recurrence after curative-intent resection for pancreatic ductal adenocarcinoma
	研究目的	膵癌は難治性固形腫瘍であり、根治切除を行っても多くの症例が早期に再発を来す。早期再発の原因としては術前から微小転移を来していることが理由として考えられているがそのリスク因子は依然明らかではない。本研究では早期再発に関連するリスク因子の探索を目的とする。
	研究対象者	2013年1月から2020年8月までに当院で手術を行った切除企図膵癌394例を対象とする。
	研究期間	西暦 2021年9月21日 ~ 西暦 2022年6月30日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	村川正明
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科(肝胆膵)
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし